

外房法友会

法政大学校友会 外房法友会 会報 第 22 号

発行所 法政大学校友会 外房法友会
発行人 古山 弘
〒299-4415 長生郡睦沢町小滝475番地1
TEL 0475-44-1869

令和 6 年度総会報告

令和 6 年 7 月 13 日、令和 6 年度総会を開催いたしました。総会では、令和 5 年度の事業・会計・監査の報告、令和 6 年度の事業計画と各議案を審議し了承されました。第 2 部の講演では、睦沢町学芸員の山口文氏から「上総介広常」と題した講演をしていただきました。上総介広常はNHKの大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」にも登場した人物で、その居城は一宮町周辺と云われています。

第 3 部の懇親会では初参加の若い卒業生もあり、会話が盛り上がりしました。最後に校歌斉唱し終了しました。

本年は 7 月 12 日に総会を予定しています。年に一度の総会です。現在の母校の様子を聞き、同窓生との懇親を深め、また県内他支部からお出での方々との情報交換も出来、最後に肩を組みスクラム校歌を歌えば最高です。明日からの活力の源となる「外房法友会総会」へぜひご参加下さい。



講演する山口文氏



老いも若きも肩を組んでスクラム校歌

藤平輝夫先輩を偲んで

令和 7 年 3 月 8 日、外房法友会顧問で元勝浦市長の藤平輝夫先輩が亡くなりました。会員一同心よりご冥福をお祈り致します。藤平先輩は昭和10年に勝浦市で生まれ、昭和33年に法政大学法学部を卒業されました。平成11年、勝浦市長選挙に立候補、

初当選し 3 期 12 年間市長を務めました。この間、「勝浦ビッグひな祭り」を企画し開催するなど数々の功績を残され、平成24年には旭日小綬章を受賞

されました。市長退任後は「外房線と地域を守る会」の会長を務めるなど、勝浦市を初めとする外房地域の発展にご尽力されました。

外房法友会においては顧問として、卒業生の結束が大事であると常に述べられていました。藤平先輩亡き後も会員一同『法政の輪』を大切にしていきたいと思っています。ありがとうございました。



遠見岬神社石段のひな飾り



平成23年総会後の「労をねぎらう会」

第30回法政大学全国卒業生の集い 秋田大会

成嶋 まさる

秋田と言えば、キリタンポ、稲庭うどん、「なまはげ」が思い浮かびます。その秋田で、法政大学の全卒業生を対象にした「全国卒業生の集い」が、2024年10月26日（土）に開催されました。外房法友会からは、古山会長、花澤良三さん、斉藤友嘉さん、成嶋夫婦の5名が参加しました。「全国卒業生の集い」に参加したことのない方も多いと思いますが、法政大学卒業生とその家族等であれば、だれでも参加可能なイベントです。今回の「全国卒業生の集い」は公開講演、懇親会等で構成されています。

成嶋は10月25日（金）に秋田市に着き、夕食を食べようと市内を歩いていると、多くの警察官がいます。さすが法政のイベントだけあって前日から警察も警備しているのか思い、警察官に尋ねると、これから石破首相が演説に来るので警備しているとの事でした。実は10月27日（日）は総選挙投票日となり、石破首相もお忙しいようです。めったにないチャンスなので演説を聞こうとも思いましたが、既に地元茂原市で期日前投票をしており、また空腹という事もあり夕食を優先しました。夕食は、きりたんぽをおいしくいただきました。

10月26日（土）のお昼には、法政のイベントとは関係ありませんが、プライベートで秋田舞妓のランチ付き舞踊観賞会に参加しました。今の日本を象徴するように、参加者は高齢者が多く外国人もいました。舞妓さんと外国人が、スマホで翻訳しながら会話するという、なかなかユニークなシーンを見ることができました。なお舞妓さんは、桜田淳子のような秋田美人でした。

14時から公開講演があったのですが、予定されていた菅前首相の特別講演は総選挙の影響かビデオメッセージに変更になったということもあり、今回は大変申し訳ありませんがパスして、18時から本番の懇親会に備えました。

懇親会では、アトラクションとして「なまはげ太鼓」がありました。現代では怖すぎる「なまはげ」は子供のトラウマになるということで、多少言動を控えめにしているという事も聞きましたが、子どものいない法政大学のイベントでは、全力で雄たけびをあげ、包丁を振り回しているようで、60歳を超えた成嶋も恐怖心がわきます。「悪い子はいねえか？」と聞かれ、「いません。」と心の中で答え、写真を撮らせてもらいました。その後、応援団演舞、校歌斉唱でお開きとなりました。

次回は2025年10月に博多で開催されます。博多に美しい舞妓さんがいるか分かりませんが、おいしいお酒、食べ物はあると思います。皆さんもぜひご家族で参加を検討されてはいかがでしょうか。

(昭和57年 法学部卒)



なまはげとの写真



秋田舞妓との写真

私と外房

松原 勇

。もう20年以上1月2日は、大手町で箱根駅伝の法政を応援してます(チェアガール見に?)。法政は、前評判がいいと良くない、今年もそうでした。史上最高とかいってたけれど、シード落ち残念でした。私、1970年入学法学部法律学科1974年卒です。

。憲法奥平康弘(憲法9条を守る会)国際法安井郁(原水協議長)法史石母田正

。もともとは、歴史が好きで法政では、史蹟踏歩会に所属してました。まさしく史蹟をめぐり学習会と称して一応、歴史の勉強も。夏合宿は、1年=萩、2年=京都、3年=飛鳥と楽しい時間を過ごさせてもらいました。

。三年になる時の春合宿は館山の相浜で、その帰りは外房線周りで、東浪見の手前でひらけ海が見えた。その時今井くんは一年でこの辺りの駅降りた?

。石母田先生の「日本の古代国家」に伊甚(いじみ)の屯倉が出てきます。また「古代の日本」(角川書店)の屯倉の設置のところに日本書紀の安閑紀に膳臣大麻呂というものが天皇の命をうけて使者を伊甚(千葉県夷隅郡勝浦市)へ遣わし、真珠を求めた。ところが伊甚国造ら京(みやこ)へ上ってくるのが遅く、期限までに献上出来なかった。そこで大麻呂は、怒って国造らを捕縛しわけをしらべることにした。それをおそれた稚子直らは、後宮の寝殿に逃げこんだ。そんなことを知らない春日皇后は、かれらをみて、おどろき息をはずませて、気絶してしまった。稚子直らはちにゅう罪(みだりに宮殿に入った罪)に問われることになった。そこで稚子直は、贖罪のため、皇后に伊甚の屯倉を献じたと言う。この話は伊甚の屯倉の起源を説明するための造作であるとされたこともあった。後世、夷じみ郡には、春日直という氏姓のものがいるので、安閑天皇の時代に春日皇后の子代である春日部がおかれ、屯倉も設置されたのは事実だと思われる。以上が日本書紀のいすみに関する記述です。東国に初めて屯倉を設置しヤマト政権が支配を強める過程にいすみが関係しています。2年のときの史蹟踏歩会のテーマは、「織豊政権とその文化」でした。その時の疑問が織田上総介信長です。なんで上総介?上総守ではないの?信長は、最初上総守を名乗って咎められ、もともと上総国は、常陸、上野とともに親王国で親王以外国守になれない。鎌倉の十三人の上総介広常も。ちなみに信長の戒名総見院殿大相国一品泰厳大居士、広常の布施にある石造の広常供養塔に刻まれた戒名総見院殿観宝広恒大居士。

。最後にいすみ市椎木の大栄寺の瑞垣に丹波屋(私の実家の屋号)と刻まれたものがあります。東元町(実家と同業者の屋号)も一緒に刻まれています。偶然見つけました。まさしく松原の鳶の屋号です。どういう縁で建てたのか今後の課題です。

(昭和49年 法学部卒)



いすみ市岬町椎木の大栄寺



私の実家 丹波屋 と同業者の東元町の名が刻まれた瑞垣

大学時代に購入した校歌と応援歌のレコード

海老根 秀昭

大学2年時の昭和54年(1979年)10月に、大学生協の購買で「東京六大学の歌(LP版)・法政大学校歌集(SP版)・法政大学校歌、若き日の誇りのカラオケ(SP版)」を購入しました。

なぜ、1年生の時に買わなかったかは分かりませんが、大学生活を送りながら法政大学への親しみや誇りを抱くようになってきたのではないのでしょうか。

当時、アパートの部屋で音楽を聴く手段は、カセットテープレコーダーやレコードプレーヤー、FM放送が主だったことを思い出します。1979年にウォークマンが発売され、その後、CDプレーヤーは、1982年(就職1年目)に発売されたようですが、いずれも持っていませんでした。

当時、私が聴いていた曲は、カセットテープではカーペンターズ、ジョン・デンバー、レコードでは杉田二郎、上條恒彦、柳ジョージ&レイニーウッド、アリス、ドヴォルザーク「新世界より」などでした。その中で、東京六大学のレコードを買ったものの、たまにしか聴かなかったことも思い出されます。

大学卒業後、やはりレコードはあまり聴いていませんでしたが、50代の後半になりレコードの静かなブームとなりました。私もレコード盤にレコードの針を置いたときのノイズに魅力を感じたり、A面を聴き終わったら自らの手でB面にかえてまたレコードの針を置くという手間にかえて味わいを感じました。

定年退職後は、仕事に就いてはいても今までより少し時間ができましたので、レコードを聴く時間が増えました。特に、東京六大学のレコードを日曜日に聴くと気持ちが鼓舞されて月曜日からの仕事へのやる気がみなぎる気がします。法政大学校歌の『よき師 よき友 …………… 法政 おお我が母校』の歌詞を聴く時は力が入り、感動する自分がいます。また、法政大学以外の六大学の校歌や応援歌を聴くことで、互いの仲間意識を感じ、他の六大学にも関心を抱くことができ、また良いものです。

私は、今まで保・小・中・高・大と卒業(園)式を経験してきましたが、武道館で最後に声高らかに校歌を歌い、感動の涙を流した大学の卒業式が強く心に残っています。

法政大学の校歌や応援歌(応援歌3曲・学生歌2曲・行進曲1曲があります。)などは、私の心の支えとなる大切な曲として、これからもレコードを通して聴いていくことでしょう。

(昭和57年3月 工学部卒)



「昭和54年(1979年)に購入したレコード」

第二の人生を中古車販売で～趣味を仕事に

山本 英和

長生郡長柄町の農家に生まれ、5人兄弟の末っ子でした。長兄とは9歳の年の差があり、ダムができることで水田が買い取られまとまったお金が入ったことで次から次へとスポーツカーなどが自宅にやってきました。コスモスポーツ、フェアレディ240ZG、ギャランGTO、マツダRX-3など今も所有していたらお宝になっていた車両が自宅の車庫に収まっていたのを子供ながらみてきて、自分で買えるようになってからAE86、ユーノスロードスター、BMW320iなどを所有してドライブなどを楽しんできました。6か月間のアメリカ研修時にはGMのオールズモビルを購入して移動の足として活用しました。

一方長生高校進学後2年生で自動二輪の免許を取得して、350CCのバイクを購入、御宿までの往復や茂原周辺の被写体を追ってカメラを持って移動に利用していました。法政大学進学後は空手のサークルで心身を鍛えつつ、休日には250CCのバイクで房総方面や大学への移動を楽しんだりしていました。

大学卒業後は母校の事務局へ就職して28年間勤めて、51歳で早期退職、千葉の事業所へ営業職に再就職、住宅の外壁・屋根塗装、寿司店、投資用アパートの営業を経て、自動車整備会社にてトラック販売営業を半年経て、市原の自動車整備会社に転職。バスやトラックの板金塗装の工場でフロント業務を2年半。合間をみて古物商許可を得て中古自動車販売を副業で細々と、そこで钣金塗装を手伝った経験を生かして5年ほど前に独立して軽自動車専門の中古自動車販売を事業として開始しました。

個人や業販業者から中古車を仕入れて、整備して時には車検を取得したうえでフリマサイトに出品して販売しています。顧客は朝活などで一緒にさせていただいている方々の他フリマサイトを見た人たちを対象にして、お陰様で仕入れた車両はほぼ買い手がついております。

将来は今の「とけベース」と自称している作業場を拡大整備して、リフト付き工場を建設して、車好きが集まれるシェアピットとして、自身は旧車のレストアを手掛けて修理の終えた車を眺められるカフェなどを併設させたいと考えています。

前期高齢者となった現在でも5年後10年後の未来に夢を馳せるおじさんです。

(昭和58年 文学部英文科卒)



車検を受けている軽自動車検査協会



展示・販売している車

「男女共同参画」って何？

鈴木 誠二

令和5年4月、地元の団体「千葉県退職公務員連盟夷隅支部」の総会が終わり、駐車場へと足を運んでいた時、「鈴木さん」と声をかけられました。職場は同じくしたことはありませんでしたが、夷隅郡市の中学校の教員を務められ、最後は小学校の校長もされた先輩でした。何かとお話を伺うと、「今、自分はいすみ市の『男女共同参画推進委員』をやっている。しかも長生と夷隅の3市7町1村で構成される「東上総地区」の取りまとめ役もやっている。今年度（令和5年度）で任期が切れるのだけれど、来年度からぜひお前にいすみ市の推進員をやってもらいたい。」とのことでした。心の中で「えーっ、どうしよう、やりたくないな。ましてや『男女共同参画』なんて自分の最も不得手な分野じゃん…」と思いながらも、先輩はグイグイと私を引っ張り込みます。ついに先輩の熱心な勧誘に根負けし、昨年(令和6年)4月に千葉県から委嘱を受け、「千葉県男女共同参画推進委員」となりました。いずれの市町村も、各市町村の役所・役場の担当者が1人、あとは住民の中から2人乃至3人で構成します。いすみ市は、企画政策課の市役所女性職員と私を（半ば強引に）誘ってくれた先輩が「もう一期やるよ」と付き合ってください、あとはやはり小学校の教員を退職された女性の方、計4人で務めています。

県の設置要綱によりますと、「役割」として（1）男女共同参画に関する普及・啓発 （2）県及び市町村の男女共同参画施策に関する情報の地域への提供 （3）男女共同参画施策に関する要望の把握、並びに県及び市町村への報告 （4）地域における女性のロールモデルの発掘及びその情報発信 他となっています。

何が何だかよくわからないまま、月に1度定期的で開催される会議に出席し、年間に何度か開催される講演会や研修会の段取りを話し合ったり、研修の成果をまとめたりし、3月には千葉市の生涯学習センターにて、県内各地区からの事業報告がなされました。

「どんなことをやるのだろうか？」という年度初めの心配は杞憂に終わり、東上総地区では、年間に何人かの「その道」のプロや男女共同に関する実践されている方々の大変有意義な講演や研修を受けることができました。この場をお借りして、特に印象に残った方の講演内容を皆様にご紹介させていただきます。

我々が子どものころからよく口にしたと思いますが、「石井のチキンハンバーグ ミートボール」でおなじみの「石井食品」の社長、石井智康氏のお話。1981年生まれで、まだお若い！2018年から祖父の創立した「石井食品」の代表取締役社長執行役員に就任。今でこそ、男性の「育児休暇」の取得は当たり前のようになりつつあります（といっても大手の企業に限定されると思いますが・・・）が、石井社長は役員会の席で「3か月ほど育児休暇をいただきたい。」と発言、相談したところ「社長がそんなに長期間休暇を取るなんてとんでもない。」と他の役員から大反対を受けたそうです。結果、なんとか承認してもらったのが1か月間の取得、となったのだそうです。育児取得期間中は月末の取締役会にのみ出席、経営会議には欠席。社内メールやチャットを含めてほぼ対応せず、結局トラブル対応で一件だけ電話報告を受けただけだったといいます。

一日のスケジュールは、5時半⇒起床、犬の散歩、ゴミ出し、6時⇒玄米がゆ・野菜スープ・ぬか漬け等の朝食づくり、7時⇒朝食。後片付け（洗い物）、8～11時⇒洗濯、トイレ掃除、部屋の掃除、12時⇒昼食、後片付け（洗い物）、14～17時⇒洗濯物の取り込み、畳み、買い物、風呂掃除等、17時⇒赤ちゃん沐浴、18時⇒夕食づくり（季節の食材×調理法×調味料）、後片付け（洗い物）、20時⇒入浴、21時⇒就寝。とまあこんな感じでひと月を過ごしたそうです。

（次ページへ続く）

ご本人の感想は「男女にかかわらず、これは全く『休』みではないな。ということでした。」「私にとっては修行であり、学びの一か月でした。」と。また「恥ずかしながらこの一か月、人生の中で一番たくさん料理しました。三食玄米と野菜中心の栄養バランスを保った食事を作るのは本当に大変でした。」とも。社長という立場からは「今回の育児の経験から、ビジネスに活かせることや部下の育成に活かせることはたくさんあったように思います。育児『休業』ではなく育児『修行』として、人生の中でそういう時間が必要になった方が男性・女性に関わらず応援されるような会社にしていきたい、と改めて強く思いました。」と述べています。

石井社長が育休取得したことにより、石井食品ではその後、執行役員2名が育児休暇を取得。名古屋営業所では正社員4人チームの中で、1名の男性社員が3か月の育休を取得したとのこと。この営業所のケースでは、チームとして約半年前から準備に取り掛かり、①当事者不在時の営業計画、②当事者の得意先の情報共有、③担当業務を棚卸し、やめるもの、続けるものを仕分けした、などすることにより、結果として売り上げ目標を達成できたといえます。また、育休取得者も職場復帰後は新しい任務に就くことになったが、営業所としての業績は伸長した。とのことでした。

(以上、講演のレジュメより。)

石井社長の話を聞きながら自問した時、やはりまだまだ自分の中に「男は男、女は女。役割が違う」という意識が強く存在していることを改めて感じました。それでも、言い訳になりますが、自分でできることは自分で…、という気持ちを忘れずに生きてきたつもりです。これからもせめて体の動くうちは自分のことは自分でやりたいと思っています。今実行していることですか？朝飯は一人で食べます。アルバイトのある日の弁当は自分で作っています。夕べやかんで作って冷蔵庫で冷やした麦茶を水筒に移します。自分の洗濯物は自分で洗濯しています。(洗濯機のボタンを押すだけです。でも自分で干します。取り込みも可能な限り自分で。取り込んだら畳んでいます)。自分の食器、弁当箱は自分で洗っています。)在宅時の昼食も自己責任です。妻は在宅していても作ってくれないので…。(学校勤務時代の給食のありがたみが身に沁みます。)

妻は、これでも堪忍してくれないでしょうか？ 私はあと一年この「男女共同参画推進員」を続けます。

(昭和58年 経営学部卒)



全国卒業生の集い秋田大会

31回目となる「法政大学全国卒業生の集い」は、今年の10月に福岡で開催されます。本誌2面には昨年の秋田大会の様子が書かれていますが参加してみたいでしょうか。校友会の終身会員になっている人には6月か7月頃には案内が届くと思います。外房法友会にもある程度の部数が送られて来ますのでご希望の方は古山までお申し出下さい。参加の仕込みと同時に宿泊するホテルの手配もしてくれます。また最終日には福岡の同窓生の案内で県内を巡ることも出来ます。

古山 TEL 090-3431-8454

30年の時を経て、市ケ谷キャンパスでの再会

井田 源

私は平成3年4月に法政大学経営学部へ入学、平成7年3月の卒業まで市ケ谷キャンパスに4年間在学いたしました。法政大学を卒業して、今年で30年が経ちました。あの日、桜の花が咲く季節に私たちは新たな一步を踏み出しましたが、時が経つのは本当に早いものです。

今年の3月29日、私は卒業後も変わらず交流を持っている経営学部の同級生3人とともに、久々に会食をし、その後に市ケ谷キャンパスへ足を運びました。満開の外濠公園の桜の花を見ながら、学生時代の思い出を語り合う一日でした。残念ながら、その日は雨天かつ季節外れの寒さとなりましたが、それでも外堀公園の桜の花々は相変わらず見事に咲いていました。

市ケ谷駅から飯田橋駅まで続く外濠公園の桜を見てみると、学生時代の様々な出来事が鮮明に蘇ります。外濠公園の桜は、まさに法政大学市ケ谷キャンパスのシンボルでした。あの桜を眺めながら、友人達と一緒に過ごした時間が懐かしく思い出されました。

卒業後30年も経ち、私たち4人はそれぞれ社会人として職場でも責任ある立場に立ち、それなりに忙しい日々を送っていますが、この日はまるで時が戻ったかのように、学生時代同様 バカな話に花を咲かせました。皆この日ばかりはあの頃と変わらず、時を経ても、学生時代の「気持ち」は忘れられないものです。

会食の後に、皆で校歌を歌いながら外濠公園から市ケ谷キャンパスに向かい、キャンパス内に入り簡単な見学をさせていただきました（入校時は守衛の方にちゃんと許可をいただきました）。30年前に在籍していた当時のキャンパスは、校門を入ると正面に55年館・58年館があり、左手にはサークルの部室が並ぶ学生会館とザ・昭和的な建物が並んでおりました。2000年代に入りこれらの建物は建替えが行われ、現在の市ケ谷キャンパスは近代的な建物が立ち並ぶようになり、私たちが通っていた当時の面影はほとんど感じられません。それでも、時の流れと共に進化し、変わり続けるキャンパスを見てみると、何とも言えない感慨深さがあります。

見学時は、同級生たちとともにボアソナードタワーの中も見えてまいりました。私たちが学生だった頃にはまだ存在しなかったこのタワーは、27階建ての近代的な建物です。私自身は2013年に経営学部の同窓会に参加をした際、1度だけボアソナードタワーに入っておりますので、今回で12年ぶり2度目の訪問となります。残念ながら当日は雨模様でしたが、窓から眺めると新宿副都心方面のビル群が一望でき、タワーから望む都心の景色に圧倒されました。在学当時の市ケ谷キャンパス校舎から見えていた風景とはまるで異なり、30年の歳月の流れを感じました。

私自身 法政大学卒業から30年という節目を迎えましたが、時が過ぎても、あのキャンパスで過ごした日々の思い出は色褪せることなく、今でも私の心に大きな影響を与え続けています。卒業後、それぞれの道を歩んできた仲間たちとの再会は、まさに宝物のような瞬間でした。そして外房法友会という場を通じて、同じ学校で学んだ諸先輩方、OB・OGの方々と繋がるができることに感謝しております。これからも、こうした再会の場を大切にしていきたいと思います。

(平成7年 経営学部卒)



市ケ谷キャンパス校門と外濠公園の桜



ボアソナードタワー(B・T)1階



B・T 27階から副都心方面を望む